

町の9

広報

2006
No. 632

こんなに立派になりました。



■今日から大人の仲間入り

8月15日、町文化センターで町成人式が開かれました。

(関連記事：2・3ページ)



町民憲章を唱和、大人としての責任を実感

42人が決意新たに

平成18年度 町成人式

8月15日、町成人式が町文化センター・ホール森の音楽隊で開かれました。

今年大人の仲間入りをしたのは、昭和61年4月2日から昭和62年4月1日に生まれた42人。そのうち40人が成人式に出席しました。

式典では、景山享弘町長が「人が成熟するためには、社会に積極的に参加することが大切。全てのことを疑い、その中から新しいものを見つけていってほしい。今日を機会に成人の意味を見つめ直してみてください」と式辞を述べました。

その後、山川真実さん（根雨）と稲田修士さん（根雨）が新成人を代表してあいさつし、山川さんは「進む道はさまざまですが、今日集まった多くの友達を支えに、これから社会の一員として責任ある行動をしたい」と、稲田さんは「これから日野町と



山川真実さん

日本を引っ張っていく私たち。今日のこの猛暑のように熱く燃えて前進していこう」と、それぞれ誓いを述べました。

式典の後には、根雨出身の日本海テレビアナウンサー、福谷清志さん（鳥取市）による「新成人に贈る言葉！」と題した記念講演が行われました。

福谷さんは、アナウンサーの仕事を選んだいきさつなどや、「ニュース番組などの生中継の現場で、短い放送時間のために多くのスタッフと全力で取り組んでいることにやりがいを感じていま



稲田修士さん

す」など、現在の仕事に対する考え方を話し、また、社会人として自分が意識していることについて、「自分が好きなことに突き進む気持ちを持つこと。自分の個性を大事にすること。プロとしての責任や意識をもつこと。この3つを常に意識しながら自分の道を進んでほしい」と、ユーモアを交えながらわかりやすく話していました。

また、開発センターで開かれた懇親会では、新成人たちは懐かしい学校給食を味わいながら再会の喜びを分かち合っていました。

新成人にアンケート (出席者 40人 うち回答 37人)

回答 (カッコ内の数字は人数)

現在の住所はどこですか？

県外 (19) 町内 (13) 県内 (5)

職業は？

学生 (24) 会社員 (8) その他 (5)

成人式の開催日はいつ頃が良い？

8月15日 (27) 1月15日 (9) その他 (1)

将来日野町に住みたいですか？

どちらともいえない (23) 住みたい (11) 住みた
くない (3)

日野町で自慢できることはなんですか？

オシドリ、自然、水・空気がきれい、福谷清志さん、
鮎もなか、金持神社など。

日野町はどんなまちになってほしいですか？

若者が住みやすいまち、全国に自慢できるまち、活
気のあるまち、まちの良いところを伸ばしてほしい
など。

将来の夢、抱負を聞かせてください

一人前になる、学校の先生になりたい、仕事をがんばる、自分を生きる、日本一になりたいなど。

そのほか、まちへの意見を

財政難脱出、帰省すると寂れたと感じる、自然保護、
道路を直してほしいなど。

ご協力ありがとうございました！



「好きだったテレビの仕事ができて幸せ」と話す福谷さん



再会を祝って乾杯！



懐かしいメニューが並び



給食を囲んで語らうひととき

みんなでも乗ろう、まちのバス



今年1月からまちを走っている町営バス。皆さんは乗ったことがありますか？
町営バスは、皆さんのニーズ（必要性）やご意見をもとに運行できる、地域に根ざした皆さんのためのバスです。
みんなで支えるみんなのバス。2000円でできる小さな旅に出かけてみませんか？

運行開始から8か月
延べ2万6700人が利用

まちの皆さんの重要な交通手段として、今年1月4日から町営バスの運行を始めました。以来8か月が過ぎましたが、この間の延べ輸送人数は2万6758人（8月末現在）に達し、人口約4200人のまちにとつて、大きな輸送量になってきています。

また、通常の路線運行とは別に、運行に支障がない場合には、学校行事やイベントなどの臨時運行バスとして、利用の拡大を図っています。

これまでの路線バスでは
運行補助金が増大

これまで、町内では日ノ丸自動車（株）による路線代替バスを運行し、まちはバス営業の赤字分を補助するかたちで運

行を続けてきました。

しかし、運行経費の増加に加え、乗車人数の減少によって運賃収入も減少、平成16年度には運行補助金が約1600万円、17年度には1800万円を超え、このままでは町民の生活交通の維持も難しい状況になりました。

さらに、小学校統合による菅福地区児童の安全で効率的な通学手段の確保も、新たな課題としてその解決が急がれていました。

新しいバス運行について
より良い方法を検討

路線バスは、地域住民、特に高齢者や児童生徒など、いわゆる交通弱者にとつて必要不可欠な公共交通機関であることから、まちでは緊急課題として対応策を検討。平成17年限りで米子・根雨線を除く4路線の代替バス運行を終了

し、今年1月から町営バスを運行しています。

自治体が運行主体となつて乗合バス事業を行う場合は、道路運送法による、いわゆる「21条バス」と「80条バス」の二通りがあります。

道路運送法第21条の規定は、自治体がバスを貸し切り、業者に運行を委託して路線を維持する方法で、今までまちが行っていたものです。

一方、第80条には「家用自動車は、有償で運送の用に供してはならない。ただし、災害のため緊急を要するとき又は公共の福祉を確保するためやむを得ない場合であつて国土交通大臣の許可を受けたときはこの限りでない」と規定されており、これにより公共の福祉の一環として自治体自らが運行することができるものです。

この方法によると、利用者のニーズや住民の要望などを取り入れた運行形態をつくることができ、地域に合った独自のバス路線として工夫していくことが可能になります。

反面、不必要なルートやダイヤ設定などの過剰サービス、コスト意識の低下を招くおそ

れもあります。

まちでは、さまざまな角度から検討して、自主運行を行う80条バスを選択し、運行管理を民間業者に委託してコスト削減を図ることにしました。

まちの現状に沿った町営バスを運行

町営バスの運行路線は菅福線、奥渡線、板井原・真住線の3路線とし、総延長は104.2キロに及びます。これまでの路線バスと違い、可能な限り集落内に乗り入れたり、停留所を延長するなど、利用区域と利便性を順次拡大しています。

ダイヤは、主に小中学生の通学に合わせた時間編成で組んでおり、輸送量の多い日野地区には登下校専用のスクール便も編成しています。また、従来から空車の目立つ土日祝日については、日野病院が診療する第2・第4土曜日以外は運休して効率化を図っています。

運賃は均一料金制で、小学生100円、中学生以上200円に設定し、町内どこに

行つても料金は同じと好評を得ています。

また、バスの車両は57人乗り中型バス1台、29人乗り小型バス2台の計3台で、購入費約3000万円は全額宝くじ助成金を充てています。車体には、町内の小学生の応募の中から決定したデザインを採用、「オシドリ」「カワコ」「ツツジ」など、まちのシンボルを楽しく表現しました。

皆さんのバス運賃が直接まちの収入に

また、バスを維持していくためには多くの経費をまちが負担していく必要があります。平成18年度当初予算では、町営バスの運行経費約1460万円を計上し、このうち利用者の運賃収入約380万円を見込んでいます。この運賃が直接まちの収入となります。したがって、運賃収入が多ければ多いほどバス運行に必要な経費が少なくて済むこととなります。

まちの皆さんが町営バスをできるだけ利用していただくことが、町営バスを存続・発展させていくことにつながり

ます。皆さんのご利用をお願いします。

様々な課題を乗り越え利用者の期待に応える

過疎地域、中でも山間地域では、利用者の減少により運行便数を減らすなど利便性が低下し、それがさらに利用者数の減少を加速させるという悪循環が起こっています。

これまでもさまざまな方策がとられてきましたが、通勤、通学、通院、買い物と利用目的の違うニーズの一元化を図り、効率化を進めて地域の生活交通を維持していか

ければなりません。ほかに、JR伯備線との輸送の連携、交通の不便な地域の解消方策、医療・福祉施設との連携、観光などを視野に入れた近隣町村との広域連携など、町営バスにはまだまだ多くの課題があります。

運行を開始して8か月あまり。「まちのバス、みんなのバス」が走り出し、活気が出てきたように感じます。皆さんの声、利用者の期待に少しでも応えていくために、試行錯誤しながら見直しを重ね、その願いに近づく町営バスでありたいと思います。

バス待ちをしていた小学生たちに話を聞いてみました！

バスのデザインについてどう思う？

面白くてかわいいと思う。

自分たち以外に町営バスにはどんな人が乗っていますか？

病院へ行くお年寄りが乗っている事が多いです。

バスはこれからどうなってほしい？

放課後バス待ちの時間が長いので、もっと本数が増えればいいな...

そのほかなんでもどうぞ！

小原まで路線が伸びたので便利になった！若い人が乗っていることは少ないなあ 休みの日でも時々乗ってます 運転手さんに、乗るときは「お願いします」、降りる時は「ありがとうございます」ってあいさつしています。

黒坂



納涼まつり



8月16日、恒例の黒坂納涼まつりが黒坂小学校グラウンドで開かれました。露店が並んだ会場には、地元住民をはじめ、お盆の帰省客らが集まり、夕方からの各種ゲームや日野中学校吹奏楽部の演奏などを楽しみました。

夜が訪れはじけると、黒坂小学校児童の傘踊りや、鳥取よさこい踊り子隊のよさこい踊りが披露され、また、400発の花火が夜空を染め上げ、祭りムードも盛り上がります。

花火の後は、やぐらを囲んでの全体踊りと大抽選会が行われ、祭りの最後を楽しく締めくくりました。



もつと知ろう、菅沢ダム

私たちの暮らしを支えている菅沢ダム。7月に発生した豪雨による水位の上昇により、過去最大の大量の放流が行われました。今後新たな被害を起こさないよう、関係者らによる連絡会が開かれました。

水位設定の見直しなど
関係者らで話し合う

8月29日、菅沢ダムを管理

する国土交通省日野川河川事務所、郡内3町と県等の関係者らによる第1回菅沢ダム連絡会が菅沢ダム管理支所（日南町菅沢）で開かれ、今後のダムのあり方や水位設定の見直しなどが話し合われました。

7月の大雨により
毎秒200トンの水を放流

7月18日から19日にかけて発生した記録的な大雨により、町内を流れる日野川の水位は上昇し、町内各地に浸水被害をもたらしました。

中でも菅沢ダム（日南町菅沢）では、激しい雨に伴って、18日夜にはダムへの流入量が急速に増加し、洪水時満水位（これ以上上げてはいけない

水位）を超えるおそれが発生し

ため、19日未明に毎秒200トンの水を日野川へ放流しました。

菅沢ダムの最大放流量は毎秒100トンと定めてあります。

しかし、大雨により毎秒200トンを超えるダムへの流入があったため、基準を超えた放流量となったのです。一方、この大量の放流の影響と思われる日野川の水位上昇が町内各地でみられ、住民の一部が自主避難するという事態も起きました。

管内最大の多目的ダムとして昭和43年に完成

菅沢ダムは、日野川の総合開発事業の中心として、支流である印賀川に昭和34年に着工、約30億円の事業費を投じ昭和43年9月に完成した県内最大の多目的ダムです。その

目的は、下流の洪水被害の

軽減 かんがい用水の補給 工業用水の確保 日野川第一発電所での発電の4つです。

菅沢ダムは、これまでも梅雨前線や台風により、毎秒100トンの放流をしたことはありますが、100トンを超えて放流したのは今回が初めてです。7月豪雨では、ダムの

最高水位は標高389・05メートル（洪水時満水位は389・60メートル）に達し、毎秒200トンの放流量とともに過去最大で、豪雨のすさまじさを物語っています。

水を防ぐため
確保水位の見直しを

菅沢ダムでは、下流の利水の補給のために確保しておくべき確保水位（これ以上上げてはいけない水位）が設定されており、その水位は季節ごとに

変動します。豪雨が発生した7月中旬の確保水位は標高386・90メートルで、年間で最も高い水位となっています。今回の豪雨の際に洪水時満水位を超えるおそれが出たのも、確保水位が高く設定されていたことが一因と考えられています。

町では、被害を予防するために7月の確保水位を低く設定してほしいと要望しています。ダム側は、「ダムが確保している水は、農業用水や飲料水など、下流に住む人たちの生活に欠かせないものであり、

利水者の理解が必要となるので中・長期的に検討したい。来年7月までには確保水位や運用基準を見直す」と回答しました。

私たちの暮らしを支える日野川、そしてダムの働きについては、下流に住む私たちも知っておく必要があります。これから季節、台風などによる大雨も予想されます。日ごろから河川情報に気を配り、水害に対処できるよう心がけましょう。



インターネットで日野川の情報を知ろう！

日野川河川事務所ホームページ

<http://www.cgr.mlit.go.jp/hinogawa>

川の防災情報

<http://www.river.go.jp>

携帯電話用 <http://i.river.go.jp>

平成 18 年度

全町一斉防災訓練

10月8日(日)午前9時～

午前9時にサイレン・防災無線で合図します。

当日町内におられる方は、各自治会で決められた仮避難所(左ページ参照)へ避難してください。



訓練の想定

10月8日午前9時に鳥取県西部を震源とする地震が発生し、日野町では震度6強を記録。

訓練の内容

午前9時にサイレンを鳴らします。防災無線で放送しますので内容を確認ください。

家にいる人の安否を確認、火の始末をします。
戸締りをして、懐中電灯など最小限の物品を持って避難します。

安全な避難経路を選び仮避難所へ避難します。

防災責任者に家族の避難状況を報告します。
報告後は責任者の指示に従ってください。
(注) 盗難防止のため戸締りをしてから避難してください。



昨年の訓練の様子

訓練の目的

訓練を重ねることにより仮避難場所の周知徹底を図る。

自主防災組織による安否確認及び災害対策本部への情報伝達訓練を行う。

防災器具の点検、救急・消火訓練などを行うことにより、地域防災力の向上を図る。

訓練中止の場合

訓練当日に突発的な大災害などが発生した場合は訓練を中止します。

中止する場合は、防災無線でお知らせします。

問合せ 日野町役場総務企画課 防災係 電話 72 0331

「あの日」を忘れないために…

町内仮避難所一覧

自治会名	仮避難所	
根雨 1 区	デイサービスセンターかじか荘	
根雨 2 区	特別養護老人ホームあいご前	
根雨 3 区	徳本氏駐車場	
	祇園遊園地	
根雨 4 区	J A 日野支所駐車場	
根雨 5 区	J A 日野支所駐車場	
根雨 6 区	山村開発センター前	
貝原	貝原農構センター	
三谷 1 区	影山氏駐車場	
三谷 2 区	三谷 2 区私有地広場	
高尾	倉谷	井沢泰正氏車庫前
	小吹	高尾公会堂前
	高尾上	稲田組駐車場
	高尾下	旧高尾駐在所前
後谷	長住武義氏宅前	
金持	1 区	櫃田広巳氏車庫前
	2 区	金持公民館前
	3 区	県駐車場
板井原	板井原公民館	
濁谷	濁谷	下口町道三叉路
	大町	谷内勝行氏宅前
	仲屋	なかや商店前
	下町	下町集会所
門谷	門	松本豊文氏宅前国道広場
	上・下三栗	三栗農構センター
秋縄	横路	横路集会所
	舟地	松村譲氏宅前
三土	三土農事作業場	
舟場	舟場コミュニティセンター	
野田	野田みちくさの館	
津地	津地自治会館	
安原	安原橋上東屋付近	
下榎 1 区	下榎 1 区農構センター	
下榎 2 区	老人憩の家	
上本郷	上口・中村・小川尻	上本郷運動広場
	岩田	林道足谷線起点
下本郷	漆原	農協米倉庫前
	加勢地	下本郷集会所
榎市	奥渡公民館	
小原・別所	埴川氏牛舎	
	小原農構センター	

自治会名	仮避難所	
黒坂 1 区	黒坂 1 区集会所前	
	光明寺前	
	黒坂小学校 (二次避難所)	
黒坂 2 区	黒坂小学校	
黒坂上 3 区	1 班	黒坂小学校
	2 班	坂本静枝氏方空地
	3 班	長尾正明氏宅横空地
	4 班	松本呉服店前交差点
黒坂下 3 区	黒坂駅前広場	
黒坂 4 区	町公民館	
	黒坂保育所	
黒坂 5 区	日野高校駐車場	
	黒坂第 2 住宅団地広場	
	黒坂第 1 住宅団地前公園	
	町営テニスコート (総合避難所)	
黒坂 6 区	細木正男氏私有地	
黒坂 7 区	黒坂 7 区	黒坂 7 区集会所
	久住原	村上始氏宅前県道
久住	1 班	谷正氏宅前
	2 班・3 班	久住集会所
	4 班	遠藤潤一氏宅前
下黒坂	下黒坂ふれあい会館	
根妻	根妻橋横	
下菅	下菅集会所	
中菅	中菅農構センター	
中菅中央	追原	組長宅前
	中菅中央・岡	追原入口
近江・畑	近江集会所	
	畑集会所	
小河内	小河内集会所	
布瀬谷	大島氏宅前	
下上菅	下上菅集会所	
中上菅	上菅駅前広場	
上上菅	荒神原	荒神原運動場
	古川	古川広場
井ノ原	井ノ原集会所	
諏訪	諏訪集会所	
漆原	漆原集会所	
下福長	久谷	後藤幸治氏宅前
	櫛原	櫛原公会堂前

各事業所や学校の敷地を仮避難場所として使用させていただくところもありますのでご協力をお願いします。事業所や学校単位での訓練は、都合の良いときに行ってください。

まちの話

あなたの声や地域、職場での話題を
お寄せください。
★役場総務企画課まで（電話72・0331）

8月10日は道の日

道の日清掃活動

私たちがいつも利用している道路をきれいにし、気持ちよく通れるようにしようと、8月10日の「道の日」にちなみ、同日、明地峠の清掃活動が行われました。

作業には、町建設業協会と町商工会女性部のボランティアなど約30人が参加、明地トンネル付近の国道180号線や展望駐車場などのごみ拾いを行いました。



わずかな時間に大量のごみが集まる

のど自慢に拍手喝采

ジゲおこし真住地区交流会

地域住民同士の交流を図ろうと、8月13日、ジゲおこし真住地区交流会（真住青年会、子ども会主催）が、町青年の家（濁谷）で開かれました。

この日は、お盆で帰省していた人らを含む真住地区の住民約80人が参加。

交流会は、夕方から広場で子どもを中心にしたそらめん流しが行われた後、体育館でのど自慢大会が開かれました。のど自慢では飛び入り参加を含む15人が熱唱し、会場は大きな拍手に包まれました。また最後には花火大会もあり、真夏の夜のひとときを地域みんなで楽しんでいました。



流しそらめんでひとときの涼しさを

お盆のお楽しみ

根雨宿一番館お盆夜市

夕涼みを兼ねた夜市でまちの活性化を図ろうと、8月13日、出雲街道根雨宿一番館（根雨）前で、(株)まちづくり日野主催のお盆夜市が開かれました。会場では、かき氷や焼き鳥、綿菓子などの屋台や、ビンゴゲーム、雑誌のふるく釣りなどが行われ、集まった地元住民をはじめ、お盆の帰省客らで賑わいました。



屋台も大繁盛！

利用者の姿を知ってほしい

セルプひの夏休み一作教室

8月17日、障害者授産施設セルプひの（根雨）で夏休み工作教室が開かれ、町内の小学生13人と施設利用者18人が参加しました。

これは、地域の子どもたちに、体験を通して施設の仕事や、がんばっている利用者の姿を見てもらい、地域と交流を図ろうと計画されたもの。

教室では、プランターや絵馬などの木製品を子どもと利用者が協力し合いながら作り、子どもたちには「夏休みの工作ができた」と好評の様子でした。

また、セルプひの前の広場では、かき氷やパンなどのバザーも行われ、地域の人たちで賑わっていました。



プランターを一緒に作りました！

野菜を使った食育を

食育講演会

8月19日、食育講演会（学校給食における町学校・家庭・地域連携推進事業実施委員会主催）が、山村開発センターで開かれ、町民約80人が参加しました。

講師に、J A 鳥取県食農教育支援センター理事長・川上一郎さんを招き、「五感で覚える食農教育のすすめ」と題した講演が行われました。

川上さんは現代の食生活について、「野菜好きな人は早寝早起きなど、生活リズムがきちんとしている。穀類や果実と違って野菜は未熟なまま食べるもので、育つための栄養が凝縮されている。子どもの食育のためにももっと野菜に目を向けてほしい」と語りました。



「子どもの味覚を育てることが大切」と語る川上さん（写真右）

講演の後は、地元産の素材を使った野菜カレーなど、学校給食の試食や分科会もあり、参加者らは、普段の食生活を省みながら、子どもたちへの食育の取り組みについて話し合っていました。



アンコールでは、合同で「Memory」を演奏

力強いハーモニー

日野中サマコンサート

日野中学校吹奏楽部のサマーコンサートが、8月20日、町文化センター・ホール森の音楽隊で開かれました。

日野中学校吹奏楽部は、県コンクールで金賞、中国大会では銀賞を受賞し今後が期待されるクラブで、今回のコンサートには、ゲストに出雲高校OBアンサンブルを迎え、迫力ある演奏を聴かせました。また、名物となった「演歌メドレー」では、保護者らが歌手として登場するなど、楽しい演出でも客席を沸かしました。

歓迎の準備万端

オシドリ観察小屋整備作業

7月の大雨被害で浸水したオシドリ観察小屋（根雨）を元の姿に戻そうと、小屋周辺の整備作業が8月27日と9月10日に行われました。

参加したのは、オシドリグループをはじめ、地元ボランティアアライ約20人。参加者は、被害のあった小屋周辺の河原などに土のうを積んで補強したり、傷んだ壁などを補修、浸水前の姿に復旧させました。

オシドリが飛来するのは10月中旬あたりから。今年も愛らしい姿が見られるのを期待しましょう。



協力し合って土のう作り

交通安全は家庭から

全国キャラバン隊来町

全国交通安全母の会連合会による全国キャラバン隊5人が、9月8日、日野町を訪れ、ひのっこ保育所で歓迎式が開かれました。

式典では、関係者ら110人が歓迎、園児によるアトラクションなどの歓迎行事の後、県のキャラバン隊長、佐々木周子さんがあいさつし、「交通安全は家庭からをモットーにキャラバン隊は全国を回っています。私たちもまちの宝である子どもたちを守っていかねければとの思いで一人一人の交通安全意識の高揚を図りたい」と語りました。



園児たちの元気いっぱいのダンスで歓迎

8月の各種大会 主な結果

第37回全国中学校ソフトテニス大会（8月16日～18日、松山市）...個人の部第3位：稲田浩明・伊田浩貴ペア

第47回全日本吹奏楽コンクール中国大会（8月24日～26日、広島市）...銀賞（小編成の部）：日野中学校吹奏楽部

おめでとうございます！

町営住宅入居者募集

町営住宅第2黒坂団地の入居者を次のとおり募集します。
住宅の名称 町営住宅第2黒坂団地

所在地 日野町黒坂1199番地
規模・構造 木造平屋建、2DK

募集戸数 1戸
月額家賃 1万8800円（3万1100円（所得に応じた変わります））
敷金 家賃の3か月分
入居予定日 10月上旬
入居資格 次の条件を満たす人

町内に住所または勤務場所を有する人、町内に住所または勤務場所を有することが確実な人

月額所得20万円以下の人
同居または同居しようとする親族がある人（60歳以上の人および心身に障害のある人で同居親族がない人も含む）
現に住宅に困窮している人
町税を滞納していない人
申込方法 次の書類を役場産業振興課へ提出してください。
申込書（産業振興課にあり

ます。）

入居者全員の所得証明書または源泉徴収票

入居者全員の住民票

申込期限 10月3日（火）

問合せ 役場産業振興課

担当 山懸 電話72 2101

年金記録相談を特別強化

社会保険庁では、平成9年1月に年金制度間に共通する基礎年金番号制を導入し、それまで加入していた国民年金、厚生年金などの年金手帳記号番号を基礎年金番号に収録する作業を進めることにより、各年金制度を通じた記録の整理と年金相談の充実に取り組んできました。

また、年金を請求する人の利便性の向上と裁定請求漏れを防ぐため、58歳到達者に対する年金加入記録の通知、裁定請求書の事前送付サービスや、インターネットによる年金加入記録の即時提供など、年金加入記録の積極的な提供にも取り組んできました。

このたび、自分の年金記録に少しでも不安や疑問のある皆さんに対して、年金記録を

確認いただき、疑問にお答え

するため、12月末まで年金記録相談の特別強化体制をとることとしました。この機会にご利用ください。

年金記録相談窓口 米子社会保険事務所（米子市西福原2-34、電話0859 346111）

司法書士無料法律相談

県司法書士会では、無料法律相談を次のとおり開きます。多重債務でお困りの方や、相続、登記などの相談など、幅広く受け付けます。お気軽にご利用ください。

日時 10月4日（水）午前10時～午後4時

場所 山村開発センター2階研修室

相談内容 簡易裁判所訴訟代理、裁判外の和解、クレジツト・サラ金などによる多重債務、相続・売買などの不動産登記、会社設立・役員変更などの商業登記、高齢者の財産管理、成年後見など司法書士の業務に関する相談。

相談無料

問合せ 県司法書士会（鳥取

日野高豆腐

商品紹介

「日野高シヨップ」での定番商品のひとつ、日野高豆腐です。1個50円で販売しています。毎回約50個近く販売しますが、いつも売り切れてしまいます。

良い材料を使っている 値段が安いのが自慢の「もめん豆腐」です。ぜひ、お試しください。

また、この豆腐を作るときにできる

「おから」は先着順で（豆腐以外の買い物でも可）皆さんに無料でお配りしています。



出雲街道根雨宿一番館 日野高シヨップ

日時 10月14日（土）午前10時～午前11時30分まで
場所 出雲街道根雨宿一番館前（根雨）
販売品 野菜（ナス、ピーマン、甘長）
加工品（ケチャップ、豆腐、味噌、苺ジャム又は梨ジャム）
草花（未定）

問合せ 日野高等学校 担当 農業科 西村、藤原（電話 72 0365）



10月の販売メンバーです。
よろしくお祈いします！

市西町1丁目314 1、電話0857 24 7013)

無料調停相談会

米子地区調停協会では、民事・家事調停委員による無料調停相談を次のとおり開きます。お金や土地・建物のトラブル、夫婦間の問題や遺産相続などの家庭内でのめんどろについて、調停委員が調停手続きの利用に関する相談に応じます。お気軽にご利用ください。

日時 10月11日(水)午前10時～午後3時

場所 米子会場 米子市公会堂2階(米子市角盤町2-61)、境港会場 境公民館(境港市湊町1)

相談無料

問合せ 鳥取地方裁判所米子支部庶務課(電話0859 22 2205)

食の知っ得講座

鳥取農政事務所では、毎日の食生活の中での「この食べものは安全なのか?」「この食品表示は信用できるのか?」といった食についての疑問に

答えるため、希望日時に職員などを無料で派遣する「食の知っ得講座」を行っています。利用方法 講座一覧から受講したい講座を選んで、10人程度以上のグループを作る。

(自治会、PTA、消費者団体などのほか、新たに作ったグループでもかまいません) 会場を確保する。(確保が難しい場合はお気軽にご相談ください)

鳥取農政事務所まで申込む(その際、希望の講座名、日時、参加人数などをお知らせください)

講座一覧 よくわかる食品安全 〓間違いだらけの食品安全の「常識」 よくわかる食品安全 〓食品安全行政の新たな動き よくわかる農業に関する安全性の確保 よくわかる食品のトレーサビリティ よくわかる食品の表示 〓気をつけてますか?毎日の食事 〓食事の栄養バランスと私たちの健康 〓家庭でできる食中毒予防 〓微生物による食中毒とその予防策

申込み・問合せ 中国四国農政局 鳥取農政事務所地域課(米子市蚊屋91 3、電話0859 27 1721)

事業所・企業統計調査にご協力を
10月1日(日)に事業所・企業統計調査を行います。調査対象は、町内にある全ての事業所・企業です。統計調査員が伺いますのでご協力をお願いします。 問合せ 役場総務企画課 担当 吉川(電話72 0331)

ごみの野外焼却(野焼き)は禁止されています。

廃棄物の処理及び清掃に関する法律が改正され、廃棄物の野外焼却(野焼き)は一部の例外を除き禁止されています。

焼却禁止の例外

- 河川や道路清掃作業で出た草木の焼却●草取り・庭木のせんていで出た草木の焼却●稲わらや農作業で刈り取った雑草、伐採した木の枝、魚網に付着した海産物の焼却●とんど焼きなどの行事を行うための焼却●暖をとるためのたき火、キャンプファイヤー

野焼きはダイオキシン汚染をはじめとする大気汚染の原因になります。ごみは、一般家庭は町の収集日に決められた場所に出し、事業者は、業者へ委託などして、適正に処分をしましょう。

焼却禁止の例外であっても、焼却によって大量の煙や臭いが発生し、近隣の生活環境に支障をきたしてしまうこともあります。

このため、畑や庭から出た草木はなるべく次のように処理し、ご近所の迷惑にならないようお願いします。



草木の処理方法

- 焼却はしないで、なるべく土に返す●よく乾かして、燃えるごみとして収集日に出す●やむを得ず燃やす場合は、よく乾かし、ご近所の理解を得て、迷惑にならないようにする。

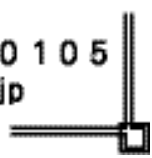
紙を燃やしてもダイオキシンは発生します。たき付けには、なるべく紙を使わないようにしてください。

風呂たき、炭焼き窯、薪ストーブでもごみを燃やすことは禁止です。

焼却禁止に違反した場合は、5年以下の懲役もしくは1,000万円以下の罰金、またはその両方が科せられます。

日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp



夏休みトピックス



子どもたちにまちの歴史を解説する川上さん（写真右）

小学生ふるさと教室開催

8月22日、恒例の小学生ふるさと教室を開き、町内の5・6年生46人が根雨地区に古くから伝わる史跡や貴重な文化財などを見学しました。昨年は黒坂地区の泉龍寺やクリンセンターくぬぎの森などを見学し、2年かけて全町を学習することになっていました。今年の日野総合事務所、延暦寺、歴史民俗資料館、四十曲峠などを2班に分かれて歴史研修会の講師、川上護さんと牧智也さんの説明を聞きながら学習しました。途中、雨のため見学できなかった所もありましたが、参加した多くの子どもたちは「自分の知らないことや、行ったことのないところに行けて良い経験になった」「いい勉強になった」「来年も参加したい」などと感想を話しました。

夏休み街頭指導パトロール

夏休み期間、青少年育成会関係団体、教育委員、保護司、更生保護女性会らによる街頭指導パトロールを行いました。

延べ111人が参加し、根雨まつり、黒坂納涼まつり、根雨駅周辺（夏休み中4回）を夜間にパトロール、不良行為少年や不審者の取り締まりを行いました。関係者の皆様にはお忙しい中ご協力いただきありがとうございます。

野外炊飯でそうめん流し

8月5日、鶉の池キャンプ場で野外炊飯を行い、小中学生と保護者ら約20人が参加し、みんなでそうめん流しをしました。

民生児童委員の久留馬繁さん、水谷洋一さん、音田正義さんを講師に、竹を使って、そうめんのつゆを入れる器やはしを作りました。そうめん流しに使った竹も講師の皆さまの手作りで風流があり、炊事棟の前から下の広場まで「そうめん滝」を作るなど趣向が凝らしてありました。器やはしのほかに、竹とんぼの作り方を教えていただき、子どもたちは自分たちで作った竹とんぼをうれしそうに飛ばして遊んでいました。また、飯ごうでご飯を炊いておにぎりを作り、自分で作った器とはしを持って流れてくるそうめんと一緒に楽しく食べていました。



みんなで作った竹細工で楽しいそうめん流し



**これからの地球子ども
教室の予定です。**

詳しい内容等は学校等を通じて別途お知らせします。

- 9月26日(火) 子ども英会話教室 (町公民館)
- 9月30日(土) 子どもお菓子作り教室(開発センター)
- 10月7日(土) 遺跡めぐり(米子市淀江)
- 10月10日(火) 子ども英会話教室 (開発センター)
- 10月21日(土) 子どもエネルギー教室(開発センター)
- 10月24日(火) 子ども英会話教室 (町公民館)
- 10月28日(土) 子ども自然観察(鳩の池)
- 11月4日(土) 昔のおもちゃづくり(黒坂小)
- 11月14日(火) 子ども英会話教室 (町公民館)
- 11月18日(土) 昔の遊び(町公民館)

**Do・スポーツ事業など
EVENTS**

毎週水曜日

夜間リーグバレー大会(日野中体育館)

9月22日(金)

ゴルフ教室(日野高校黒坂校舎)

9月24日(日)

町民体育祭(根雨地区黒坂地区)

9月26日(火)

太極拳教室(開発センター)

9月28日(木)

健康教室(町公民館)

10月3日(火)

太極拳教室(開発センター)

10月5日(木)

健康教室(開発センター)

10月9日(月)

ソフトテニス大会(日野中コート)

10月10日(火)

太極拳教室(開発センター)

10月12日(木)

ソフトテニス教室(日野中体育館)

10月13日(金)

ゴルフ教室(日野高校黒坂校舎)

10月17日(火)

太極拳教室(開発センター)

10月19日(木) 健康教室(開発センター)

申込み・問合せ Do・スポーツ事務局(電話72 2323) または町公民館まで。

**「少年の主張鳥取県大会」
日野中生徒の作品が入選に**

中学生が日常生活を通じて感じたことなどを発表し、生きる力を育てるため開かれる「少年の主張鳥取県大会」に日野中学校の生徒3人が応募しました。

惜しくも大会への出場は逃がしましたが、荒木沙紀さん(3年)の作品が入選しました。この作品は今後発行される記念文集に掲載されます。おめでとございます。

町公民館からのおねがい

町公民館が行っている公民館事業、サークル活動などについて、まちの皆さんのご意見、ご要望などをお聞かせください。

問合せ 町公民館(電話74 0212)

公民館ロビー展

石こけし展

(10月16日まで)

石こけし会の会員が作った、自然石を使った可愛らしい石こけしを展示しています。どうぞご覧下さい。(展示時間=8:30~17:30)

町公民館では、グループや個人の絵画、写真、手芸などの作品展示を企画していますので、出品希望がありましたらご連絡ください。

第7回おしどり学園のご案内

日時 10月24日(火) 8:30~16:30(予定)
場所 倉吉方面
内容 一般教養講座 倉吉方面で町外研修

学園生の方は多数参加ください。
なお、学園生以外の方は参加できません。

町公民館の使用手続き

公民館を使用される方は、使用する3日前までに申請書を公民館へ提出してください。

使用できる日: 年末年始(12月29日から1月3日)を除く日
使用できる時間: 8時30分から22時まで

料金: 町使用料条例による額

ロビーは、午前8時30分から午後6時まで開放しています。
図書室もありますので、お気軽にお立ち寄りください。

りんぽかん 隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



「交流会」が開かれました

地区学習会の「交流会」が、
小中学生それぞれで開かれ
ました。

中学生の交流会は8月18
日、日南町ふれあい会館で開



かれ、榎の実学習会からも生
徒6人が参加しました。

日南町における地区の歴
史にふれることを通して、部
落差別解消に向けた姿勢や
態度を養うことをねらいと
して、フィールドワークや意
見交換など、学習しながら親
睦を深めました。

また、小学生は日南町の児
童8人を迎え、午前中は下榎
集会所で木を使った動物型
自動車を作り、午後は力又
の里に移動して日野高校の
先生や根雨小学校にゆかり
のある先生方の協力で力
又一体験をして交流しまし
た。日南町の子どもたちも、
日野町でしかできない体験
ができたようです。

ほかほか教室

ほかほか教室を老人憩の家
で開き、前回好評だった「輪
投げ」と、新たに「ダーツ」
を取り入れて軽く汗を流しま
した。

体にあまり負担がかからず、
室内でできるニュースポーツ
なので、お年寄りにも喜んで
参加いただき、暑かった夏も
元気に乗り切れそうです。

みんなで夏休みの作品作り

夏休みの自由研究になれ
ばと、隣保館で小学生たちが
作品づくりをしました。

8月8日には、小枝などを
使って「森の音楽隊」作りに
挑戦しました。

細かい作業が多いので低
学年には少し難しかったよ
うですが、小刀などの刃物を
使うので、みんな真剣に取り
組みました。

また、夏休みも終盤となっ
た8月29日には、木綿の白い
ハンカチに思い思いの絵を
描いたり、豆で絞りをつくっ
たあと、キハダを使って草木
染めをしました。

豆で絞りを作る作業もス
ムーズにでき、低学年も上手
にできました。



お知らせ

「解放文化祭作品募集」

11月10日、12日までの3日
間、下榎隣保館・集会所を主
会場に「第29回日野町解放文
化祭」を開きます。つきまし
ては、人権啓発に関する作品
などを募集しますので、どし
どしお寄せください。
詳しくは隣保館までお問い
合わせください。

生け花教室
毎月第3火曜日は、下榎
集会所で生け花教室を開いて
います。

8月は、お盆のため11日に
変更。パンパス、ニユーサイ
ユリに加え、キウイのつるを
脱色したものを使って、とて
も涼しげな作品になりました。
講師は、草月流の生田清子
さんです。

材料費（お花代）は、個人
負担ですが、随時入会できま
す。お気軽に参加ください。

10月の学習講座予定	
木工講座	3日・10日(火)午前9時～
下榎集会所(講師)	原広之さん
編み物講座	14日(土)午後7時～
老人憩の家(講師)	安達利子さん
生活の知恵講座	21日(土)午後7時～
下榎集会所(講師)	恩田記子さん
生け花講座	17日(火)午後7時30分～
下榎集会所(講師)	生田清子さん

秋の 10月20日(金)～29日(日) としよがんまつり

協力 / 図書館友の会

図書館おはなし会 10月21日(土) 10:00～
絵本やわらべうた、おはなしなどを一緒に楽しみましょう。
「ブレーメンの音楽隊」、ブラックライト紙芝居「竜王滝のはなし」他
参加無料

木のおもちゃづくり 10月22日(日) 10:00～
児童の登り人形をつくらう!! 要材料費(500円)要申込み


絵手紙教室 10月23日(月)
初心者コース(10:00～)、中級者コース(13:30～)、定員各10人
要材料費(100円)要申込み


刺し子のお手玉づくり 10月25日(水) 10:00～
刺し子のお手玉3個と袋を作ります。協力:布のおもちゃづくり たんぼぼの会
要材料費(300円)要申込み

デジカメ写真で年賀状を作ろう! 10月25日(水)
自分で撮った写真で年賀状を作ってみませんか? 13:30～、19:00～
要材料費(200円)要申込み

パソコン困りごと相談 10月26日(木) 10:00～17:00
パソコンを買ったけれど使い方がわからなくて困っている人はあり
ませんか?簡単な使い方を教えます。(自分のノートパソコンを持って
きてください) 参加無料、要申込み

参加申込みは町図書館(電話 72-1300)まで

 **古雑誌お持ち帰りコーナー**
保存年限が切れた雑誌を、1人1タイトル2冊までお持ち帰りできます!

 **野外読書コーナー**
図書館の中庭にくつろぎコーナーを作ります。(コーヒー1杯100円)

10月のホールイベント

10月6日(金) 14:30～ 鳥取県西部地震展示交流センター記念講演
「地域の防災力を高めるまちづくり」講師:渥美公秀氏(大阪大学助教授)
入場無料

10月8日(日) 12:30～ 新舞踊光佳流「菊華の舞」
日本舞踊を基本に、なじみ深い歌謡曲に乗せて踊る「新舞踊」の踊りの会です。
曲目は「菊の宴」「黒田武士」「奥飛騨慕情」ほか。出演は、町内および県西部の
皆さんです。(入場料2,000円)

10月22日(日) いきいき“ひの”ふれあいまつり芸能発表

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinososyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

図書館の展示コーナー

10月1日(日)～19日(木)
鳥取県西部地震6周年企画
思い出の復興イベント写真展

10月20日(金)～29日(日)
ふるさとが生んだ偉人

生田長江展

生田長江を知る!
入門セミナー(3回目)
10月20日(金) 19:30～
会場:延暦寺(根雨)
テーマ:「長江とノーチェ、詩人達に与えた影響」

10月29日(日)
13:30～15:30

会場:ホール森の音楽隊
パネリスト:谷崎昭男氏
(相模女子大学教授)、竹内
道夫氏(文芸史家)、河中信
孝氏(生田長江の会会長)

主催:鳥取県、生田長江
顕彰事業実行委員会

問合せ:日野総合事務
所(電話 72-2084)または
町図書館(電話 72-
1300)まで

生田長江シンポジウム



ひのっこ保育所 子育て支援室 だより

ひのっこ保育所 子育て支援室では、保育所に入所していない子どもたちを迎えて、毎週水曜日、午前9時から2時間、親子で楽しく遊んでいます。

さわやかな風と虫の声に秋を感じるようになりましたね。秋空の下で散歩したり、秋の自然にふれて遊びましょう。帽子とお茶などの飲み物を準備してきてくださいね。

「子育て支援室」愛称募集!

このたび「子育て支援室」に親しみやすい名前をつけたいと思います。応募用紙を役場健康福祉課と役場黒坂支所、各保育所に準備しています。応募締

め切りは10月5日(木)です。たくさんのご応募お待ちしております!

連絡先 ひのっこ保育所 担当 音田
(電話 72 - 0238)

10月の予定カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

印が実施日です。

4日は折り紙の日(どんぐり、くり)

11日はお散歩、落ち葉拾い(午前10時~)

25日はおはなし会

18日は都合のため休みます。

10月3日(火)は、町保健師、栄養士、助産師、歯科衛生士による乳幼児相談・育児学級を山村開発センターで開きます。お気軽にお越しください。

行政相談週間

10月16日~22日

こんな場合にご相談ください
国などの仕事について、苦情がある、困っている 説明や措置に納得できない どこに相談してよいかわからない 制度や仕組みがわからないなど。

行政相談週間に関連して、次のとおり相談所を開きます。お気軽にご相談ください。

とき 10月5日(木)

午後1時~午後3時

ところ 山村開発センター

相談受付 行政相談員 山本武史

問合せ 鳥取行政評価事務所

(行政苦情 110番:0570 090110)

10月1日~7日は 公証週間

米子公証役場

電話(0859)

32 3399

こころの散歩道

日野町俳句同好会 選

盆波に供物たゞよふ地蔵崎(講師)谷 悦子
猫に物言うて留守居の冷奴 安達つるゑ
魚屋の鰯は目玉を見て買ひぬ 荒木 習子
盆終い供物流しの河鹿川 勝瀬 京子
同窓会窓に漁火またゞけり 金川 昭子
宿場町月日涼しく古りにけり 川上 文子
迎へ火や御霊帰へりし気配かな 久城 霞溪
杉の秀に夏満月の大いなる 徳本千鶴子
水の威を思い知りたる出水跡 眞壁富貴枝
(五十音順)

編集後記

言葉を操る広報の仕事をしていると、ついつい人の言葉づかいが気になってしまいます。

最近気になるのは「~させていただきます」という言い方。正しい日本語ではありますが、「~いたします」でじゅうぶん丁寧なのに、ずいぶんへりくだった表現だなあと。人間同士の心の距離が昔より遠くなってきているのか、会話するのにそこまで気を使わなければならないのかと少々寂しい気持ちになります。それよりなにより発音しにくい!かきう自分もつい使ってしまうんですが、カツゼツの悪い自分にとっては毎回「させていただきます...た...」...。(i)

おくやみ
「冥福をお祈りします」
(氏名) (年齢) (住所)
8月届出分
生田 勲一 75歳 本郷
西村 かね 95歳 下榎
石倉 正義 70歳 根雨
9月届出分
梅林 和子 74歳 黒坂
藤原 文子 86歳 根雨

8月31日現在

わたしの町

(前月比)

人口 4,219人(-2)
男性 1,975人(-0)
女性 2,244人(-2)
世帯 1,573戸(-8)

届出 8月9日~9月10日 敬称略

10月 暮らしのカレンダー

OCTOBER (神無月)



1 日	滝山公園紅葉マツタケまつり 午前10時～	16 月	不燃・資源ごみの収集日(根雨・日野地区)
2 月	国民健康保険税3期分、介護保険料3期分納期限	17 火	ポリオ予防接種 開発センター 受付:午後1時15分～午後1時30分
	健康相談 町公民館 午前9時～午前10時		可燃粗大ごみの収集日(黒坂・菅福地区)
3 火	乳幼児相談 開発センター 受付:午後1時15分～午後1時30分	18 水	隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分～
	隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時～		行政相談 町公民館 午前9時～正午 乳がん・甲状腺がん・子宮がん検診 開発センター 受付:午後1時～午後2時 発泡スチロール・蛍光管の収集日(7班)
4 水	発泡スチロール・蛍光管の収集日(1班)	19 木	発泡スチロール・蛍光管の収集日(8班)
5 木	人権相談 開発センター 午後1時～午後3時	20 金	発泡スチロール・蛍光管の収集日(9班)
	心配ごと・子育て・高齢者生活相談 開発センター・老人福祉センター、午後1時～午後3時		生きいき“ひの”ふれあい祭り 役場前ほか 午前9時～午後3時
6 金	発泡スチロール・蛍光管の収集日(2班)	21 土	隣保館生活の知恵講座 下榎集会所 午後7時～
	発泡スチロール・蛍光管の収集日(3班)		22 日
7 土		23 月	古紙の収集日(黒坂・菅福地区)
8 日	全町一斉防災訓練 午前9時～	24 火	可燃粗大ごみの収集日(根雨・日野地区)
9 月	体育の日 可燃ごみの収集は休みます。該当地区は10日(火)に収集します。	25 水	
10 火	1歳6か月児、2歳児健診 開発センター 受付:午後1時15分～午後1時30分	26 木	不要犬・猫引き取り日 日野保健所
	月曜日と火曜日の地区の可燃ごみを収集します。		27 金
11 水	隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時～	28 土	
	発泡スチロール・蛍光管の収集日(4班)		29 日
12 木	年金相談 開発センター 午前10時～正午、午後1時～午後3時	30 月	古紙の収集日(根雨・日野地区)
	不要犬・猫引き取り日 日野保健所		31 火
13 金	発泡スチロール・蛍光管の収集日(5班)	ミニギャラリー情報(町内の展示コーナーを紹介します) 根雨郵便局:「写友会ひの写真展」9月29日まで。 日野総合事務所:「日野郡の風景(仮)」9月25日～10月18日まで。「生田長江展」10月20日～29日まで。 蔵美術館(上菅):「岡野三郎さん絵画展」～10月13日まで。「徳岡信子さん絵画展」10月15日～11月15日まで。	
14 土	発泡スチロール・蛍光管の収集日(6班)		
15 日	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後7時～		

直通電話	総務企画課	72 0331	住民課	72 0333	出納室	72 2105	健康福祉課	72 0334
	産業振興課	72 2101	黒坂支所	74 0211	公民館	74 0212	議会事務局	72 0335
	農業委員会	72 2103	教育委員会	72 2107	文化センター	72 1300	給食センター	72 1167
	健康福祉センター	72 0334	地域包括支援センター	72 1852	ひのっこ保育所	72 0238	黒坂保育所	74 0225
	下榎集会所	72 1191	役場代表番号(夜間・休日)	72 0331				

町長の定期便

第6回

災害復旧に朗報

暑かった夏も去り、実りの秋になりました。水田では稲穂が黄色く熟れ、台風が来なければよい出来秋になりそうです。9月2日には、町農林振興公社の稲刈り受託作業の開始式を開き、豊作と作業の安全を祈り、各ほ場に向けて出発しました。

さて、「7月豪雨」では、町内各地で大きな被害を受けました。現在、被災された皆さんと、急ぐところ・出来ることから復旧を始めています。10月に予定されている災害査定に向けての準備や、必要な予算計上をしなくてはなりません。

ところで、先日は国土交通省からうれしい便りが届きました。8月14日付で「災害関連緊急砂防事業」を日野町の4か所で採択したとのこと。この中には金持地内での床上・床下浸水で心配をおかけした所や、国道180号が不通となった下菅の黒谷川が含まれています。また「災害関連緊急治山事業」でも1か所採択されました。総事業費は約10億円が見込まれているところです。この事業の実施主体は県ですが、町の負担は全くなく、全額が国と県で負担されます。財政難の我がまちにとってありがたいことです。町の現状をよく理解していただいた国土交通省、財務省や鳥取県など、ご支援いただいた皆さんに熱く感謝申し上げます。

今後は、災害を最小限に食い止めるべく、関係者一丸となって災害予防に努め、安心・安全なまちづくりを目指します。よろしくお願いいたします。
(9月4日記)

日野町長 景山 享弘

こげなん あったて!

「根雨小児童が珍しい化石を発掘したらしいぞ!」との情報をいただき、さっそく根雨小学校へ行ってみました!すると、ありましたありました!「ホラドミア」と呼ばれる二枚貝の化石です。



化石は長さ8センチほど

発掘したのは、根雨小学校の5年生、中山翼さん(写真左)と松原啓文さん(同右)。二人は8月1日に日南町で開かれた「理科リーダー講習会」に参加し、多里の地層を発掘していたところ、松原さんが岩のすき間にこの化石があるのを発見、中山さんと協力して発掘したということです。

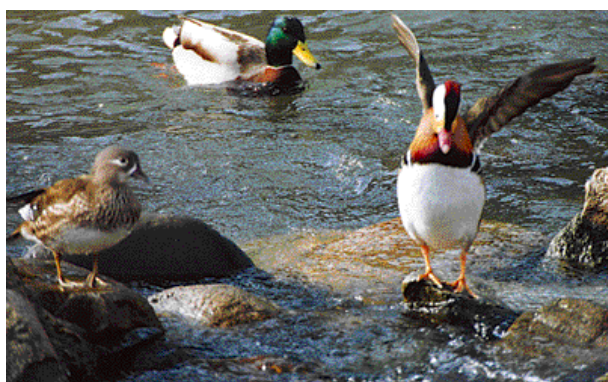
ホラドミアは、約500万~2500万年前くらい昔の幻の化石と呼ばれ、もともと海の底だった多里の地層は、この化石を産出したことで学会でも早くから注目されてきたとのこと。

感想を聞くと、松原さんは「たがねとハンマーを使って岩から掘り出すのが大変でした」と、中山さんは「そんなに珍しい物には見えなかったけどうれしかった」と話してくれました。

発掘に立ち会った鳥取大学の先生から「大切にしまっておくように」と言われたそうで、少し緊張気味の二人でした。



ちょっぴり得意げな中山さん、松原さん



『ラジオ体操、一、二、三』
撮影 山根 茂さん(根雨)

オシドリ だくす

Vol. 103



残暑厳しい中、「手伝うよ」と大勢の方が観察小屋周辺の作業をしてくださいました。水で流された場所を土のう袋で補強してもらい、流木などで大変だったエサ場もきれいになりました。オシドリを迎える準備はボランティアの皆さんのおかげで着実に進んでいます。少しずつエサも届いています。早いもので、オシドリのシーズンはもう目の前です。

【連絡先】 オシドリグループ事務局
森田(電話72 0271)